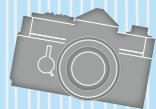


まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎ 43・8113



福津で最高位を決める戦い

第31期電王戦7番勝負第2局



▲対局終了後、2日間の対局を振り返る感想戦に臨む羽生竜王

将棋界で最高位のタイトル戦と言われる電王戦が10月23日と24日、宮地嶽神社で行われ、羽生善治竜王に広瀬章人八段が初めて挑みました。竜王戦は毎年さまざまな都市で開催されますが、今年は福津で第2局が初めて開催されました。2日間の福津対局では羽生竜王が勝利し、第1局に続き2連勝。茨城県の鹿島神宮で行われた第3局は広瀬八段が勝利しました。羽生竜王がこのまま勝ち進み、防衛すると通算タイトル100期獲得となり、広瀬八段が勝利すれば自身初の竜王となります。対局の間には、両棋士が松ヶ枝餅を食べるなど、福津の名物も登場しました。

また別会場では、対局の様子を解説する大盤解説会も行われ、200人を超える将棋ファンが集まりました。福岡市内の小学校に通う三塩太郎さんは「羽生竜王の大ファン。ここの近くで対局しているとは信じられない」と目を輝かせながら話してくれました。

夢を実現しプロ野球選手に

島内颯太郎さんが広島東洋カープ2巡目指名



▲最速152km/hの球が武器の島内さん

日本プロ野球で新人選手の入団交渉権を決める2018年プロ野球ドラフト会議が10月26日に行われました。広島東洋カープが2巡目に指名したのは九州共立大学4年生の島内颯太郎さん。島内さんは福津出身で、福岡小学校、福岡中学校、県立光陵高校の卒業生です。「野球を始めたのは小学校3年生のとき。当時からプロ野球選手になることが夢だった」と笑顔で語る島内さんは、高校野球部で2年か

らエースとして活躍しました。大学では一度肘のけがに悩まされましたが、懸命なリハビリを経て、3年生の秋以降はエースとして活躍しました。

今の心境を尋ねたところ「まさか2巡目に指名されるとは思ってもいなかった。野球を始めた頃からほぼ毎試合、仕事を休んでまで応援に来てくれた両親に感謝している」と話し「息の長いプロ野球選手として活躍したい」と意気込みを語ってくれました。

全国大会行きの切符をめぐる激走

プリンセス駅伝in宗像・福津



▲第5区の勝浦付近で先頭に立ったワコール

全日本実業団対抗女子駅伝の出場権をかけた予選会「第4回プリンセス駅伝in宗像・福津」が10月21日、行われました。全国各地から参加した27チームは宗像ユリックスを発着点に、福津市と宗像市で熱戦を繰り広げました。この大会を制したのはワコール。福岡県勢では九電工が3位に入りました。市内では、各応援拠点でだんご汁などの振る舞いや沿道の交通整理など、地元のボランティアの皆さんの協力がありました。

光の道の海辺を歩く

福津ビーチウォーク



▲宮地浜をガイドに質問しながら歩く参加者

海まで一直線に続く宮地嶽神社の参道を、夕日が照らす「光の道」の時期に合わせて市内ではさまざまなイベントが行われました。そのひとつ、10月27日の福津ビーチウォークでは、観光ガイドが歴史などを紹介しながら福岡駅から津屋崎漁港までを歩きました。福岡市から参加した西川謙三さんは「福津の海岸は一直線できれい」と話してくれました。

いっぱいとれたよ

みかん狩り交流会



▲たくさん収穫できて子どもたちも大喜び

内殿のみかん畑で11月3日、みかん狩りが行われました。この日は好天に恵まれ、昼過ぎにはみかんがなくなるほどの大盛況。若木台の高橋ひろみさんは「初めて参加した。近所のみかん狩りが楽しめる」と語り、娘の凜希ちゃんも、慣れないせん定ばさみで丁寧にみかんを取って、うれしそうに袋に入れていました。会場では炊きたての新米、豚汁、さつまいも、ぜんざいの販売もあり、参加者は食欲の秋を満喫していました。

海が見えるレース場で熱き戦い

JAFカップオールジャパンダートトライアル



▲観客の前で土煙をあげる豪快なドリフト走行

恋の浦で11月5日、日本自動車連盟公認のダートトライアルの大会が行われました。ダートトライアルとは、未舗装の路面のコースでタイムを競います。この大会は九州で8年ぶりの開催で、国内の一流選手が参加しました。熊本県から参加の田中精一さんは「62歳になり30年振りに競技を始めた。安全第一にがんばりたい」と話してくれました。